

癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	FTD/TPI+BEV
対象疾患	治癒切除不能な進行・再発 結腸・直腸癌
1クールの日数	28日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	ロンサーフ	FTD/TPI	下記参照		po		d1～d5 d8～d12
2	ベバシズマブBS	BEV	5	mg/kg	div	下記参照	d1、d15
3							
補足	<p>ロンサーフ1日量：35mg/m²/回 1日2回 朝・夕食後 1.07m²未満：35mg/回(70mg/日)、1.07m²以上～1.23m²未満：40mg/回(80mg/日) 1.23m²以上～1.38m²未満：45mg/回(90mg/日)、1.38m²以上～1.53m²未満：50mg/回(100mg/日) 1.53m²以上～1.69m²未満：55mg/回(110mg/日)、1.69m²以上～1.84m²未満：60mg/回(120mg/日) 1.84m²以上～1.99m²未満：65mg/回(130mg/日)、1.99m²以上～2.15m²未満：70mg/回(140mg/日) 2.15m²以上：75mg/回(150mg/日)</p> <p>ベバシズマブBSの投与時間は初回投与時90分で行う。忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間、3回目以降30分で投与可能。</p>						

催吐リスク	中等度
前投薬	
減量規定	<p>ロンサーフ：好中球数500/mm³未満、血小板数50,000/mm³未満 コース単位で1日単位量として10mg/日単位で減量。最低投与量は30mg/日まで ベバシズマブBS：国内臨床試験における高血圧、蛋白尿等の休薬・中止基準あり</p>
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、倦怠感、下痢、口内炎、高血圧、出血、尿蛋白陽性、消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延
参考文献	<p>適正使用ガイド（ロンサーフ、アバスチン） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）</p>
その他	

投与スケジュール

Day (1、15)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL ベバシズマブBS注 1日1回	1本 5mg/kg	初回90分 2回目60分 3回目以降30分